公共施設等の最適な経営管理（ファシリティマネジメント）に関する取組みについて

■　総量最適化・有効活用に関する施設の点検・検討結果

〇　大阪府は、「大阪府ファシリティマネジメント基本方針」（平成２７年１１月）に基づき、所有する公共施設等について、将

来の利用需要に応じた総量の最適化や有効活用を図ることとしております。このため、築後２５・５０年目を目処に、その劣化

（老朽）や有効活用の状況を点検することとしており、平成３０年度は、延９３施設の点検を行いました。（平成２８年度

からの３年間で、築後２５・５０年目以外の施設を含めて延２０８施設の点検を行いました。）

築後25・50年目の施設とその他（築後25・50年目以外）の施設について、築後25・50年目の施設は平成30年度と、平成28年度から平成30年度の合計を表しています。その他（築後25・50年目以外）の施設は平成30年度と、平成29年度から平成30年度の合計を表しています。築後25・50年目の施設は点検結果を維持、建替え、有効活用、撤去や廃止等、継続協議の５つの区分に分けて、それぞれの施設数、棟数、延床面積を表示しています。１つ目の区分は維持で、平成30年度は、29施設、114棟、延床面積は288,671.19平米で、平成28年度から平成30年度の合計は76施設、280棟、延床面積は770,732.55平米です。2つ目の区分は建替え(うち2施設2棟は減築）で、平成30年度は、0施設、0棟、延床面積は0平米で、平成28年度から平成30年度の合計は4施設、4棟、延床面積は8,847.37平米です。３つ目の区分は有効活用で、平成30年度は、０施設、０棟、延床面積は０平米で、平成28年度から平成30年度の合計は1施設、1棟、延床面積は1,487.77平米です。４つ目の区分は撤去・廃止等で、平成30年度は1施設、1棟、延床面積は36,178.05平米で、平成28年度から平成30年度の合計は9施設、29棟、延床面積は156,288.39平米です。５つ目の区分は継続協議（点検結果がでるまで事後保全）で、平成30年度は7施設、14棟、延床面積は37,272.73平米で、平成28年度から平成30年度の合計は20施設、52棟、延床面積は168,907.79平米です。合計しますと、平成30年度は37施設、129棟、362,121.97平米で、平成28年度から30年度の合計は110施設、366棟、1,106,263.87平米です。
その他（築後25・50年目以外）の施設は、点検結果を〇（築後25・50年目の点検までの間、予防保全を実施）、△（継続して点検を実施し、点検結果が出るまで事後保全）、×（廃止等）の3つの区分に分けて、それぞれの施設数、棟数、延床面積を表示しています。１つ目の区分は〇（築後25・50年目の点検までの間、予防保全を実施）で、平成30年度は、39施設、77棟、延床面積は354,615.74平米で、平成29年度から平成30年度の合計は60施設、105棟、延床面積は542,890.38平米です。２つ目の区分は△（継続して点検を実施し、点検結果が出るまで事後保全）で、平成30年度は、14施設、17棟、延床面積は151,173.57平米で、平成29年度から平成30年度の合計は30施設、37棟、延床面積は289,789.10平米です。３つ目の区分は×（廃止等）で、平成30年度は、３施設、3棟、延床面積は4,896.42平米で、平成29年度から平成30年度の合計は8施設、11棟、延床面積は56,610.26平米です。合計しますと、平成30年度は56施設、97棟、510,685.73平米で、平成29年度から30年度の合計は98施設、153棟、889,289.74平米です。
築後25・50年目とその他（築後25・50年目以外）を合計すると、平成30年度は93施設、226棟、延床面積は872,807.70平米、平成28年度から平成30年度の合計は208施設、519棟、延床面積は1,995,553.61平米です。
**＜点検結果＞**（過年度の点検で継続協議となった施設含む）

■　施設の再編等による縮減

〇　総量最適化・有効活用に関する施設の点検以外の施設についても縮減に取組み、平成２８年度からの３年間で、１１施

設２１棟について、売却などを行いました。

（平成３０年１２月末時点）

平成28年度から30年度の合計を売却、撤去、出資・無償譲渡の３つの区分に分けて、それぞれの施設数、棟数、延床面積を表示しています。１つ目の区分は売却で、８施設、16棟、延床面積は42,212.70平米です。2つ目の区分は撤去で、1施設、２棟、延床面積は5,337.75平米です。3つ目の区分は出資・無償譲渡で、2施設、3棟、延床面積は12,293.18平米です。合計しますと11施設、21棟、延床面積は59,843.63平米です。

■　評価指標による有効活用の検討結果

〇　総量最適化・有効活用に関する施設の点検とは別に、毎年度、評価指標（※）により有効活用度及び劣化度を点検し、

有効活用方策を検討した上で、その実現に向けた取組みを進めており、平成３０年度は、４施設の点検を行いました。

（平成２８年度からの３年間で、延５８施設の有効活用の状況を点検しました。）

（※）「減損の兆候を判断する指標」：固定資産に減損が生じている可能性を示す事象があるかどうかを確認するもの。固定資産の「減損」とは、固定資産に現在期待される

行政サービス提供能力が当該資産の取得時に比べて著しく減少し将来にわたりその回復が見込めない状態又は固定資産の将来の経済的便益が著しく減少した状態をいう。